

2023年1月13日

各位

会社名 株式会社 クリーマ
代表者名 代表取締役社長 丸林耕太郎
(コード番号: 4017 東証グロース)
問合せ先 執行役員コーポレートディビジョン GM 伊藤彩紀
(TEL.03-6447-0105)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年4月14日に公表した2023年2月期の業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 当期の業績予想数値の修正 (2022年3月1日~2023年2月28日)

	連結売上高	連結 営業利益	連結 経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり連 結当期 純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,872	百万円 △447	百万円 △454	百万円 △376	円 銭 △56.22
今回修正予想(B)	2,482	△444	△432	△458	△68.55
増減額(B-A)	△390	3	22	△82	-
増減率(%)	△13.5%	-	-	-	-
(ご参考) 前期連結実績 (2022年2月期)	2,294	322	363	230	34.53

2. 修正理由

今期2023年2月期においては、クリエイター・購入者双方に対する顧客価値向上に向けた「Creema」プロダクトの継続的な改善や、サービス認知度の向上を目的としたTVCM放映等を通じて、マーケットプレイスサービス・プラットフォームサービスを一層伸長させるとともに、「HandMade In Japan Fes' 2022」や「Creema YAMABIKO FES 2022」といったリアルでの大型イベントも計画通り開催いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は1,780,677千円(前年同期比6.8%増)となり、前年に引き続き堅調な売上成長を続けております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の撤廃が本年3月下旬に発令されたタイミングより、前年までの巣ごもり消費の反動に加え、消費の場がオンラインからオフラインへと移行する、いわゆる「リオープニング」の影響が全国的に発生し、当社主軸サービスであるマーケットプレイスサービス「Creema」及び、「Creema」と連動性の高いプラットフォームサービスにて、想定を上回るマイナス影響が生じました。そのため、当第3四半期連結累計期間のマーケットプレイスサービスの売上高は、1,196,005千円（前年同期比2.8%増）、プラットフォームサービスの売上高は、432,363千円（前年同期比4.4%増）での着地に留まる見込みとなりました。この結果を踏まえ、連結売上高が当初の業績予想を下回る見込みとなりましたので、2023年2月期通期連結業績予想を修正することにいたしました。

コスト面においては、「Creema」の認知拡大のためのプロモーション投資や、新サービス開発への投資など、中長期的な成長を企図した投資は当初計画通り継続しつつも、網羅的なコストコントロールに取り組み、当初の想定よりもコストが低調に推移したことから、売上の業績予想こそ下方修正となりますが、営業利益・経常利益の業績予想においては、期初に開示した数値から大きな変更はございません。なお、親会社株主に帰属する当期純利益の着地予想が、当初の業績予想よりも下回っておりますが、これは期初計画において繰延税金資産を計上する予定でしたが、今期の計上を取りやめたことによるものです。

（注）上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しです。実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

以上